

MBO—中長期経営戦略を可能にする株式非公開化、成功の鍵を探る

将来見据え企業価値向上の手段として

ここ数年、事業環境の多様な変化に対応するべく、MBO(経営陣が参加する買収を駆使した株式非公開化による上場廃止を選択する企業が自立的に短期的な業績変動に左右されにくい、経営の自由度を高め意思決定が早められるなどの期待が持たれるが、株式の買収価格の設定で株主の理解を得られるか難しい判断も迫られる。

基調講演 ハーバードが再評価する日本企業の価値観

ハーバード大学経営大学院
ハーバード・ビジネス・スクール教授
一橋大学名誉教授



竹内弘高氏

ユニークな戦略を有する日本企業は、グローバル市場で競争力を発揮する上で、海外市場への進出が不可欠である。そのためには、グローバル市場での競争力を高める必要がある。MBOは、日本企業にとって重要な戦略の一つである。

知識ベースの戦略が注目される

知識ベースの戦略は、企業価値を向上させるための重要な手段である。MBOを通じて、企業は知識ベースの戦略を実施し、競争力を高めることができる。

企業経営をする上で、常に戦略を練る取り組みが欠かせない。戦略論の世界的権威である米国の経営学者、マイケル・ポーターの考えが、ハーバードでは主流である。競争戦略論の考えは、他社と異なる

プレゼンテーション ショー なぜ、経営者はMBOを行うのか

GCAサウイアングル代表取締役
インテグラル代表取締役
一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授



佐山展生氏

場し続ける価値はある。MBOは、経営者が自身の価値を向上させるための重要な手段である。



笹山幸嗣氏

MBOは経営者に始まる。経営者が自身の価値を向上させるための重要な手段である。

上場が経営の足かせにもなる

上場は、経営者の意思決定を制約する。MBOを通じて、経営者は上場の足かせを脱却し、経営の自由度を高めることができる。

上場は、経営者の意思決定を制約する。MBOを通じて、経営者は上場の足かせを脱却し、経営の自由度を高めることができる。

ハードル乗り越える気概持つ

経営者は、MBOを通じてハードルを乗り越える気概を持つ必要がある。

経営者は、MBOを通じてハードルを乗り越える気概を持つ必要がある。

フロントランンの現場では現実と向き合う。

3つ目は「場」をつくる姿勢。場は英語で「プレイス」だが、論では日本語で「場」として表現される。4つ目は「エッセンス」を伝える。5つ目は「ゴール」を設定する。

この考えを再行しているロールモデルとして「ファースト・リテリ」の柳井正会長兼社長が論文に数多く登場する。現在行っているMBOは、経営者の利益相反が問題だ。MBOの対象会社の役員として売り手である株主のために行動すべき経営陣が、買収側に立つて取引に同意することになるからである。

松村 取締役の過半数な意見があるが、どのようにして行うのか、どうあるべきかについて考えるに当たって、構造的に存在する法的問題とは、

松村 MBOについて様々な意見があるが、どのようにして行うのか、どうあるべきかについて考えるに当たって、構造的に存在する法的問題とは、

プレゼンテーション ショー 経営者による株式非公開化の手法…MBO成功のための理論と実務

森濱田松本法律事務所
パートナー弁護士



松村祐士氏



小島義博氏



小林卓泰氏

松村 MBOについて様々な意見があるが、どのようにして行うのか、どうあるべきかについて考えるに当たって、構造的に存在する法的問題とは、

松村 MBOについて様々な意見があるが、どのようにして行うのか、どうあるべきかについて考えるに当たって、構造的に存在する法的問題とは、

松村 MBOについて様々な意見があるが、どのようにして行うのか、どうあるべきかについて考えるに当たって、構造的に存在する法的問題とは、

経営者からみた疑問に答える

森濱田松本法律事務所
パートナー弁護士



松村祐士氏



小島義博氏

松村 MBOについて様々な意見があるが、どのようにして行うのか、どうあるべきかについて考えるに当たって、構造的に存在する法的問題とは、

松村 MBOについて様々な意見があるが、どのようにして行うのか、どうあるべきかについて考えるに当たって、構造的に存在する法的問題とは、

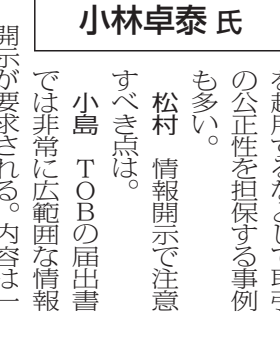
松村 MBOについて様々な意見があるが、どのようにして行うのか、どうあるべきかについて考えるに当たって、構造的に存在する法的問題とは、

成功するMBOの要諦

森濱田松本法律事務所
パートナー弁護士



松村祐士氏



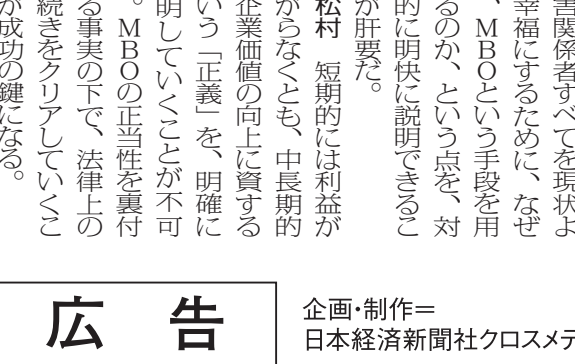
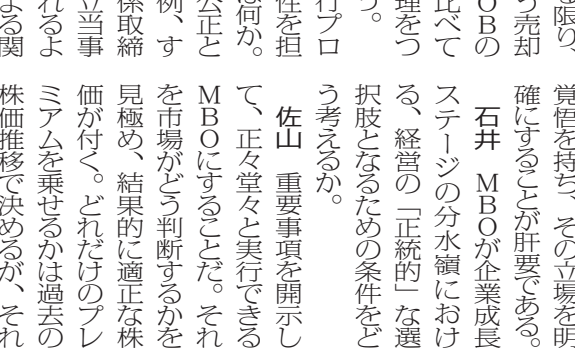
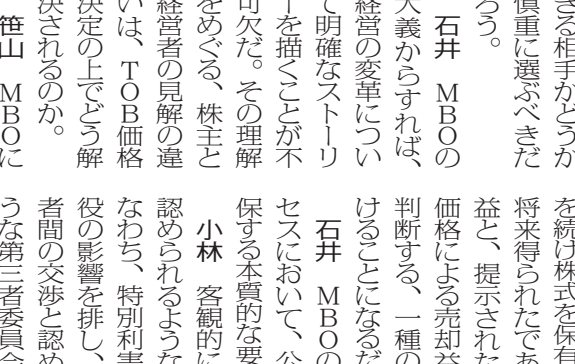
小島義博氏

松村 MBOについて様々な意見があるが、どのようにして行うのか、どうあるべきかについて考えるに当たって、構造的に存在する法的問題とは、

松村 MBOについて様々な意見があるが、どのようにして行うのか、どうあるべきかについて考えるに当たって、構造的に存在する法的問題とは、

松村 MBOについて様々な意見があるが、どのようにして行うのか、どうあるべきかについて考えるに当たって、構造的に存在する法的問題とは、

- パネリスト ●
 - GCAサウイアングル代表取締役 佐山 展生氏
 - メザン代表取締役 笹山 幸嗣氏
 - 森濱田松本法律事務所 パートナー弁護士 松村 祐士氏
 - 森濱田松本法律事務所 パートナー弁護士 小島 義博氏
 - 森濱田松本法律事務所 パートナー弁護士 小林 卓泰氏
 - コーディネーター ●
 - インテグラル代表取締役 石井 光太郎氏



石井 MBOは注目を集めるが、疑問は多岐にわたる。MBOの成功には、経営者の意思決定が不可欠である。

石井 MBOは注目を集めるが、疑問は多岐にわたる。MBOの成功には、経営者の意思決定が不可欠である。

石井 MBOは注目を集めるが、疑問は多岐にわたる。MBOの成功には、経営者の意思決定が不可欠である。

石井 MBOは注目を集めるが、疑問は多岐にわたる。MBOの成功には、経営者の意思決定が不可欠である。

石井 MBOは注目を集めるが、疑問は多岐にわたる。MBOの成功には、経営者の意思決定が不可欠である。

石井 MBOは注目を集めるが、疑問は多岐にわたる。MBOの成功には、経営者の意思決定が不可欠である。

石井 MBOは注目を集めるが、疑問は多岐にわたる。MBOの成功には、経営者の意思決定が不可欠である。

石井 MBOは注目を集めるが、疑問は多岐にわたる。MBOの成功には、経営者の意思決定が不可欠である。

石井 MBOは注目を集めるが、疑問は多岐にわたる。MBOの成功には、経営者の意思決定が不可欠である。

石井 MBOは注目を集めるが、疑問は多岐にわたる。MBOの成功には、経営者の意思決定が不可欠である。

石井 MBOは注目を集めるが、疑問は多岐にわたる。MBOの成功には、経営者の意思決定が不可欠である。

石井 MBOは注目を集めるが、疑問は多岐にわたる。MBOの成功には、経営者の意思決定が不可欠である。